

## 長崎県の基盤整備事業の効果事例集（その5）

### 諫早市の馬鈴薯団地の形成と 近年完了地区の紹介

|                  |            |
|------------------|------------|
| 諫早市の馬鈴薯団地の形成     | ・ ・ ・ ・ P1 |
| 島原市：宇土山地区(H28完了) | ・ ・ ・ P3   |
| 雲仙市：八斗木地区(H29完了) | ・ ・ ・ P7   |
| 西海市：丸田地区(H29完了)  | ・ ・ ・ P11  |
| 基盤整備事業 予定位置図     | ・ ・ ・ P16  |



諫早市 飯盛南部地区（H23年度完了）

平成30年11月  
長崎県・長崎県土地改良事業団体連合会

# 諫早市の馬鈴薯団地の形成

飯盛北部地区、飯盛南部地区と有喜南部地区により優良な畑作地帯を形成



| 地区名  | 飯盛北部   | 飯盛南部    | 有喜南部    |
|------|--------|---------|---------|
| 事業工期 | H8～H19 | H11～H23 | H26～H32 |
| 受益面積 | 133ha  | 183ha   | 67ha    |
| 計    | 383ha  |         |         |
| 主要工事 |        |         |         |
| 区画整理 | 133ha  | 183ha   | 62ha    |
| 畑かん  | 133ha  | 134ha   | 67ha    |

☆ いさはやポテト元気くん ☆

メークインの生産量は県内で第1位

地区内で生産されたメークインは「いさはやポテト元気くん」として主に京阪神、中国方面に出荷され好評です。

**飯盛・有喜地域の馬鈴薯団地と完成直後の選果場(ドローン撮影)**

**飯盛北部地区 馬鈴薯作付状況**



**飯盛南部地区 馬鈴薯作付状況**



**有喜南部地区 事業実施中**

**完成直後の畑地**



**4月に稼働した馬鈴薯選果場**



| 飯盛・有喜地区   | 面積 (ha) | 出荷量 (t) | 販売額 (千円)  |
|-----------|---------|---------|-----------|
| H29春ばれいしょ | 350     | 9,483   | 1,930,594 |
| H28秋ばれいしょ | 69      | 1,285   | 159,297   |

販路先: 関東～九州市場(関西がメインである)

# 基盤整備事業の効果 (島原市 宇土山地区)

## 【地区概要】



### 【地区概要】

- 経営体育成基盤整備事業 (耕作放棄地型)
- 総事業費 861,992千円
- 工期 H22 ~ H28
- 受益面積 A=26.8ha
- 受益個数 108戸
- 工事内容  
区画整理 21.3ha  
畑かん 26.8ha

整備前



整備後



## 【営農状況】



(だいこん収穫状況)



(だいこん共同選果場)



(にんじん共同選果場)

- ◆地区内の耕作放棄地を含めた基盤整備の実施により、レタス、にんじん、だいこん等の高収益作付が大幅に拡大。
- ◆基盤整備を契機に大型機械の導入が可能となり、省力化と生産コストを低減するとともに、共同集出荷施設を活用した安定的な農業経営の展開を図る。

# 【宇土山地区における基盤整備効果の発現状況】

## 【主要作物の作付拡大と新規作物の導入】

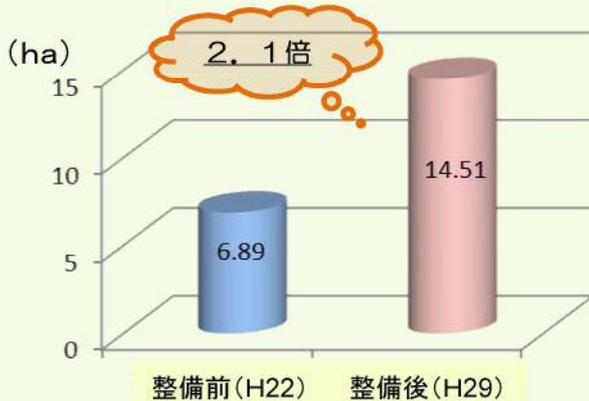
| 整備前     |         | 整備後     |           |
|---------|---------|---------|-----------|
| 主な作物名   | 事業前(ha) | 主な作物名   | H29実績(ha) |
| レタス     | 2.7     | レタス     | 7.3       |
| セット玉ねぎ  | 0.2     | セット玉ねぎ  | 0.0       |
| にんじん    | 0.8     | にんじん    | 6.3       |
| 大根      | 1.1     | 大根      | 3.9       |
| みかん     | 1.7     | みかん     | 0.4       |
| かぼちゃ    | 0.7     | かぼちゃ    | 0.1       |
| スイートコーン | 0.4     | スイートコーン | 2.6       |
| 飼料作物    | 1.6     | 飼料作物    | 4.3       |
| ブロッコリー  | 0.0     | ブロッコリー  | 3.5       |
| ばれいしょ   | 0.0     | ばれいしょ   | 0.3       |
| たまねぎ    | 0.0     | たまねぎ    | 0.4       |
| その他     | 0.0     | その他     | 5.3       |
| 計       | 9.2     | 計       | 34.4      |
| 本地面積    | 17.5    | 本地面積    | 18.5      |
| 作付率     | 52.6%   | 作付率     | 185.9%    |

## 【作付率の増加】



## 【担い手の経営規模拡大】 ※宇土山地区担い手15人

### 【地区内での担い手経営面積(ha)】



- ◆担い手15人の経営面積の増※地区内外  
25.3ha → 33.5ha (8.2ha増)  
1.7ha/人 → 2.2ha/人 (2.3ha/人増)

- ◆地区内での担い手経営面積  
6.9ha → 14.5ha (7.6ha増)  
<シェア>  
39.4% → 78.4% (39.0%増)

### 【地区内での農業産出額の増加】



- ◆農業産出額の増 (9.5千万円)  
3.0千万円 → 12.5千万円

### 【農業所得の増加〔担い手農家〕】

#### 【担い手一人当たり農業所得(千円)】



- ◆農業所得の増 (1,179千円/人)  
4,427千円/人 → 5,606千円/人

# 宇土山地区における地域の活性化

## 「宇土山甦る農地探検隊」



### ■概要■

平成28年11月24日に島原市立第4小学校の3年生 34名の参加のもと、「めざせ杉谷博士！宇土山甦る農地探検隊」（主催：島原半島土地改良協会、島原農地保全広域協定運営委員会（宇土山会）、宇土山土地改良区）を開催しました。

### ■内容■

総合学習の一環として「めざせ杉谷博士！」をテーマに地域を知り、地元への愛着心を育む目的で、学校の近くで行われている宇土山地区 耕作放棄地解消事業を題材に体験学習を行いました。

噴火災害後荒廃化した農地の実状や現在の工事内容、工事手順、有害鳥獣対策の説明を受けるとともに、地元土地改良区種村理事長の話聞き、スタンプラリー形式で農地が甦っていく様子を学習しました。

また、整備が完了した畑でダイコンの収穫体験や測量体験、トラクターへの試乗等も行い、子供達にも大変好評でした。

【探検：知る】

耕作放棄地って何だ？

【探検：学ぶ】

畑の整備って何？

【探検：感じる】

新鮮野菜を食べよう！



【整備前】



【整備後】



【参加した子供達の感想】

- 生の大根を食べて甘いところと辛いところがあってびっくりした。
- イノシシの対策もわかりました。
- 大きくなったらトラクターを運転したり野菜を育てたりしたい。
- わたしも1度農業の仕事をしてみたい。

# 杉谷っ子が宇土山探検

## 農業の現状と課題を学ぶ



島原市杉谷地区の農地などを児童らが巡る「目指せ杉谷博士」宇土山探検の農地探検隊が24日行われ、島原四小の3年生34人が地元農業者の話や仕事体験(測量や収穫など)を通じて、農業への理解を深めた。主催したのは島原半島土地改良協会、島原農地保全広域協定運営委員会(宇土山会)、宇土山土地改良区。

総合学習の一環として平成24年から始まり、ことごと5回目。同小近くで行われている「宇土山地区耕作放棄地解消事業」を題材に、児童らの農業に対する理解向上と、地元産の育成を図るのが狙い。

学習ではまず、雲仙・普賢岳噴火災害による降灰の影響で、耕作放棄地が増えたこと、平成22年から取り組んできた整備事業の内容や工事手順などの説明を聞いた。

続いて、一昨年に整備工事が完了した宇土山土地改良区の種村繁徳理事長の畑に移動し、「農業の大事さ」と題した種村さんの話や質疑応答が行われた。「何本の大根をつくられているのですか?」という質問に対し、種村さんが「一万本くらいです」と答えると、予想を超える数に、子どもたちは一様に驚きの表情。

その後、お待ちかねの大根の収穫体験。短時間で多くの収穫をあげようと、子どもたちは無我夢中になっ

### 雲仙初霧氷を観測

#### 冷え込み冬の装いに

寒気の影響でぐっと冷え込んだ24日朝、雲仙の妙見岳(13333m)で今季初



### 《25日》大安全

- △1月生 取り越し苦労や迷いがチャンス逃がす最大の原因。決断力が必要
- △2月生 依頼心は敵。協力者や援助者は多いが甘えること失敗する。シビアに
- △3月生 煮え切らない態度だと人柄を疑われる。意思表示をハッキリさせよ
- △4月生 貸借は早目に精算せよ。もうけ話は機敏に動くほど有利に展開する
- △5月生 2カンシヤクやイライラは禁物。余裕が福
- △6月生 書類は入念に目を通せ。頼まれごと引き受けなが無難。慎重に
- △7月生 おカネのことなら心配無用。金運、財運とも旺盛なもの。強気で
- △8月生 好調。周囲の雑音などに迷わずまい進んで大丈夫。思い通りにいく
- △9月生 めっほう忙しい日。留守中の盗難や失火に注意せよ。神経を配って
- △10月生 的外れな忠告や、風評に迷わぬこと。すべてマイペースで処理せよ
- △11月生 八方ふさがり低迷の時期。ことにビジネス面がダメ。耐えること
- △12月生 飛躍のとき。失敗を恐れず思い切って行動せよ。副業もドシドシと

続き行われた大根の試食では、とれたての大根が振る舞われ、「ちよっと辛かけど甘くておいしいかも。」「また、おかわりしてよ。」など大人気だった。

このほか、光波測量器を使った測量体験やトラクターの試乗も行われ、子どもたちは初めてさわる機械に興味津々。また、各探検ポイントでは、クイズやスタンプラリーが行われ、成績優秀者には賞状が贈られ、参加者全員には宇土山でとれた新鮮な野菜がプレゼントされた。

島原市白山町 二六番地  
**植木歯科医院**  
 電話 六二一三七六五  
 ◇専用駐車場あり

# 基盤整備事業の効果 (雲仙市 八斗木地区)

## 【地区概要】



## 【地区概要】

- 総事業費  
1,648,000千円
- 工期  
H23~H29
- 受益面積  
A=42.0ha
- 受益戸数  
93戸
- 工事内容
  - 区画整理 42.0ha
  - 農業用排水 41.7ha

## 【営農状況】



(八斗木白ネギ)



(ネギの集出荷場)



(ネギの育苗ハウス)

◆画整理・畑かん施設の総合整備を行い、効率的な営農による生産コストの削減、農地集積による経営規模拡大、畑かん用水を活用した高付加価値作物の栽培等により農業経営の安定化を目指しており、高収益作物である馬鈴薯やブロッコリーの作付拡大を図る計画である。

# 【八斗木地区における基盤整備効果の発現状況】

## 【高収益作物の作付拡大】

| 主な作物名     | 事業前(ha) |
|-----------|---------|
| 深ネギ       | 22.4    |
| ジャガイモ(秋蒔) | 3.0     |
| ソルゴー      | 2.0     |
| サトイモ      | 0.2     |
| ジャガイモ(春蒔) | 3.0     |
| イタリアン     | 2.0     |
| ダイコン      | 2.0     |
| はくさい      | 1.4     |
| ブロッコリー    | 0.5     |
| タマネギ      | 0.5     |
| ニンジン(春蒔)  | 0.8     |
| 計         | 37.8    |
| 本地面積      | 40.0    |
| 作付率       | 94.5%   |



| 主な作物名     | 計画(ha) |
|-----------|--------|
| 深ネギ       | 30.0   |
| ジャガイモ(秋蒔) | 1.5    |
| ソルゴー      | 2.0    |
| ニンジン(夏蒔)  | 1.0    |
| カボチャ      | 1.0    |
| ジャガイモ(春蒔) | 1.5    |
| イタリアン     | 2.0    |
| ダイコン      | 4.0    |
| はくさい      | 4.0    |
| ブロッコリー    | 10.0   |
| レタス       | 3.0    |
| ニンジン(春蒔)  | 3.0    |
| 計         | 63.0   |
| 本地面積      | 38.8   |
| 作付率       | 162.4% |

## 【作付率の増加】



**事業前** 37.8ha/40.0ha=94.5%  
**事業後** 63.0ha/38.8ha=162.4%  
 (67.9%UP)

## 【担い手の経営規模拡大】



- ◆担い手17人の経営面積の増※地区内外  
 42.8ha → 60.0ha (17.2ha増)  
 2.5ha/人 → 3.5ha/人 (1.0ha/人増)
- ◆地区内での担い手経営面積  
 17.9ha → 28.7ha (10.7ha増)  
 <シェア>  
 44.8% → 74.0% (29.2%増)

## 【農業産出額(千円/ha)の増加】



- ◆農業産出額の増  
 3,813千円/ha → 8,739千円/ha

## 【農業所得(千円/人)の増加】



- ◆農業所得の増  
 4,594千円/人 → 15,830千円/人

# 八斗木地区における地域の活性化

八斗木地区は、古くは開拓農地であったことから世帯間の結びつきが強い地域であり、このような地域の特性を活かして、地域内で共同販売体制を構築する等、JAと連携して計画的な産地化を進めてきた。その結果、白葱の一大産地へ成長してきた。

併せて、ブロッコリー、人参等を導入し、販路拡大を図るとともに、「八斗木白葱」を中心とした営農体系へ転換を進めてきた。

基盤整備による作付面積の拡大により、収穫作業の作業支援体制が必要となったことから、JA等の作業受委託組織、集出荷施設を積極的に活用することで新たな雇用の創設に繋がっている。

このような営農努力の下、近年はその子供たちが農業後継者として家庭を持つようになり、親、子、孫の3世代が同じ地域で生活し、地域の学校行事や伝統行事等の共同活動により、地域の活性化に繋がっている。

その波及効果として、全国で高齢化や少子化が問題視されており雲仙市でも児童数が減少傾向にある中で、八斗木小学校は、平成24年度の児童数40名から増加傾向に転じ、平成33年度には73名まで増える見込みとなっている。

児童数が増加したことで、平成30年度から全学年が単式学級となり、この事例は新聞にも取り上げられた。

また、地域の伝統行事である「風除祭」では子供たちに祭を行う理由や、作物の大切さなどを教えており、子供たちが農業の大変さや食の大切さを学習するよい機会となっている。





# 基盤整備事業の効果 (西海市 丸田地区)

## 【地区概要】

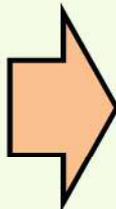


### 【地区概要】

- 経営体育成基盤整備事業 (耕作放棄地型)
- 総事業費 922,297千円
- 工期 H23 ~ H29
- 受益面積 A=29ha
- 受益個数 73戸
- 工事内容
  - 区画整理 29ha
  - 畑かん 29ha



整備前(全景)



整備後(全景)

## 【営農状況】



(ばれいしょ収穫状況)



(ばれいしょ・ブロッコリーの作付状況)



地域統一ブランド 西海赤土「西の恵」

- ◆地区内の耕作放棄地を含めた基盤整備の実施により、ばれいしょ、すいか、ブロッコリー等の作付が大幅に拡大。
- ◆基盤整備を契機として農業生産法人「(有)ファームまるだ」が設立され、地区内に流通の拠点となる集出荷施設を建設し、地域で生産された作物を統一ブランド西海赤土「西の恵」として販売。更なる生産拡大及びブランド力の向上を図る。

# 【丸田地区における基盤整備効果の発現状況】

## 【主要作物の作付拡大と新規作物の導入】

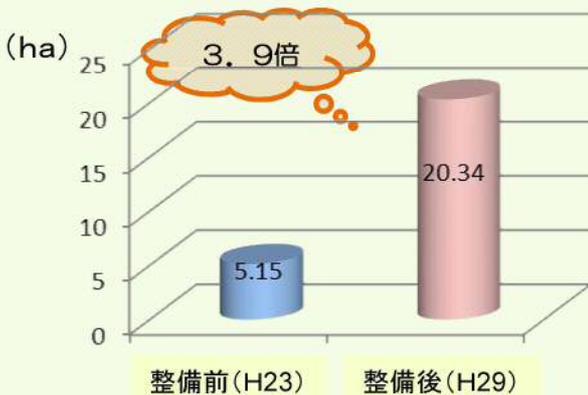
| 整備前    |         | 整備後    |           |
|--------|---------|--------|-----------|
| 主な作物名  | 事業前(ha) | 主な作物名  | H29実績(ha) |
| ばれいしょ  | 9.3     | ばれいしょ  | 21.7      |
| みかん    | 7.5     | みかん    | 3.0       |
| すいか    | 3.3     | すいか    | 5.8       |
| かんしょ   | 3.2     | かんしょ   | 1.2       |
| ブロッコリー | 2.8     | ブロッコリー | 6.5       |
| 大根     | 0.4     | 大根     | 1.4       |
| 水稻     | 0.3     | 水稻     | 0.2       |
| たまねぎ   | 0.0     | たまねぎ   | 1.0       |
| にんじん   | 0.0     | にんじん   | 0.8       |
| キャベツ   | 0.0     | キャベツ   | 1.0       |
| かぼちゃ   | 0.0     | かぼちゃ   | 0.6       |
| ほうれんそう | 0.0     | ほうれんそう | 0.3       |
| しょうが   | 0.0     | しょうが   | 0.2       |
| ねぎ     | 0.0     | ねぎ     | 0.2       |
| はくさい   | 0.0     | はくさい   | 0.1       |
| ピーマン   | 0.0     | ピーマン   | 0.2       |
| 計      | 26.8    | 計      | 44.2      |
| 本地面積   | 31.9    | 本地面積   | 24.2      |
| 作付率    | 84.0%   | 作付率    | 182.6%    |

## 【作付率の増加】



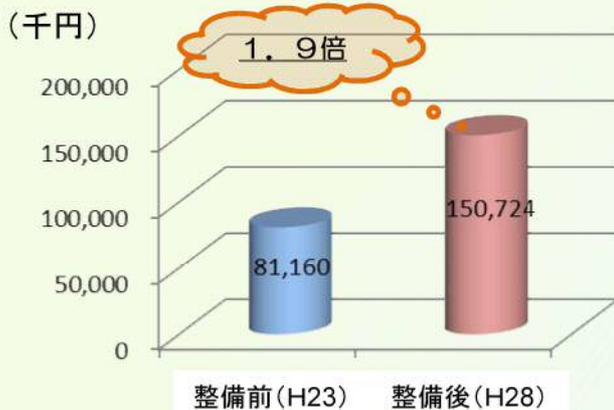
## 【担い手の経営規模拡大】 ※丸田地区担い手7人（うち法人2組織）

### 【地区内での担い手経営面積(ha)】



- ◆担い手7人の経営面積の増※地区内外  
33.8ha → 51.9ha (18.1ha増)  
4.8ha/人 → 7.4ha/人 (2.6ha/人増)
- ◆地区内での担い手経営面積  
5.2ha → 20.3ha (15.1ha増)  
<シェア>  
16.3% → 83.9% (67.6%増)

### 【地区内での農業産出額の増加】



- ◆農業産出額の増 (7.0千万円)  
8.1千万円 → 15.1千万円

### 【農業所得の増加〔担い手農家〕】

#### 【担い手一人当り農業所得(千円)】



- ◆農業所得の増 (4,272千円/人)  
5,996千円/人 → 10,268千円/人

※法人を除く5経営体の作付実績を基に試算

# 丸田地区における耕作放棄地の解消とブランド力向上の取組み

## 1. 事業実施前後の状況

【事業実施前】

不整形狭小な畑、耕作放棄地



【事業実施後】

広く整形された畑、解消された耕作放棄地



## 2. 事業実施後の営農状況

乗用収穫機によるばれいしょの収穫状況



すいかの作付状況



ブロッコリー作付状況



ブロッコリーへのかん水状況



### 3. 流通コスト削減・安定出荷への取組み

野菜集出荷施設 (H28 完成)



ばれいしょ選別状況



### 4. ブランド化への取組み

西海赤土「西の恵」 (商標登録 H26. 8)



西海赤土「西の恵」 (ダンボール)



### 6. 今後の取組み

H30 製氷機導入予定



氷詰めされたブロッコリー (他地区)



# H29~H33 長崎県の農地基盤整備(区画整理)事業

# 予定位置図

(H30.11現在)

| 凡         | 例 | 面積(ha) |
|-----------|---|--------|
| 事業予定地区(畑) | ● | 598    |
| 事業予定地区(田) | ● | 80     |
| 事業実施中(畑)  | ○ | 894    |
| 事業実施中(田)  | ○ | 265    |

(H〇〇は新規採択地区)

●H28,H29完了地区

